



2012-2013 ガバナー月信

国際ロータリー第2690地区(鳥取・島根・岡山)

Governor's Monthly Letter

Vol. **5**

2012.11.1



「和服を着たベルギーの少女」 児島虎次郎

(大原美術館所蔵)



Peace
Through Service

2012-2013年度

国際ロータリー会長 田中 作次

国際ロータリー第2690地区(鳥取・島根・岡山)

2012-2013年度ガバナー 森田 昭一郎

CONTENTS

- 2 ガバナーメッセージ
「ロータリー財団月間に寄せて」
- 3 ロータリー財団月間に寄せて
- 4 地区青少年交換委員会報告
- 5~11 ガバナー公式訪問だより
- 11 2012-2013年度新地区補助金奨学生留学
- 12 米子RC60周年式典を終えて
- 13 キラリ☆一番星アワード報告
- 14~15 地区だより(8月)・文庫通信
- 16 出席報告

ガバナーメッセージ

ロータリー財団月間に寄せて

国際ロータリー第2690地区ガバナー

森田 昭一郎



ロータリーには様々なプログラムがあり、その中で11月はロータリー財団月間としています。もちろん各テーマのプログラムを十分に理解する為の強化月間であり、不断の運動への理解、参加は必要であるという事は自明の理であります。

このロータリー財団の正式名称は国際ロータリーのロータリー財団であり、このRIロータリー財団の使命はロータリアンが健康状態を改善し、教育への支援を高め、貧困を救済する事を通じて、世界理解親善、平和を達成出来るようにすることです。財団への支援を通じてロータリアンは人々の生活向上に貢献する力を得る事が出来るのです。

しかし、上記の地球的なプログラムを実行に移すには財政的な裏付けが必要となります。各地クラブの会員が様々な基金への寄付をする事によってその運動資金は賄われます。従って各基金への寄付は自クラブの活動基盤を助ける直接的な資金支援であるともいえません。

ロータリー財団の基盤強化と会員増強は車の車輪のような役目を担っています。双方がバランスよく勢いをもって回転すれば時代の先駆けとなってこの百数年間ロータリアンが常に夢見た理想世界に一歩近づけるのです。

時に創立100周年を迎えるにあたってロータリー財団が奉仕の第二世紀として定めた「未来の夢計画」が活動を始めました。「世界で良い事をしよう」という新しい標語は私達の運動をよりシンプル化した大変分かり

やすい言葉だと感じます。特に新たに設置された新地区補助金はロータリー運動の新しい側面だと思います。私達はもっと対外的な運動を通じて新しい世紀への挑戦をなすべきでしょう。幸い私達の第2690地区はパイロット地区に指定されています。私達の行うプログラムが、そしてそれによる効果がロータリー財団の未来を切り開くといっても過言ではないと思います。二世紀目を迎えたロータリー運動はもっと力強く、もっと効果的に、そして合理性に富んだ会の運営とアピールが行われるべきであると思っています。



ロータリー財団の6つの重点分野

- | | |
|--------------------|-------------------|
| ① 平和と紛争予防／
紛争解決 | ④ 母子と健康 |
| ② 疾病予防と治療 | ⑤ 基本的教育と
識字率向上 |
| ③ 水と衛生設備 | ⑥ 経済と地域社会
の発展 |



ロータリー財団月間に寄せて

RI 第2690地区 DRFC

PDG 鳥居 滋



近年におけるロータリー（R）財団の変貌は著しい。「未来の夢計画」は、R財団の変革の戦略に沿ったアクションの第一歩だと言える。現在、R財団は、「ロータリー財団の2017年ビジョン」に向かって歩を進めている。つまり、R財団の創立100周年を一つの区切りとして、ここで戦略転換をはかろうとしている。その際のビジョンとして、ポリオの撲滅、寄付方法の多様化、簡素化された補助金と運営モデルなどと共に、目玉として、1. 世界的に認知された奉仕団体50傑の仲間入りをする事、2. 世界的人道的ニーズに答えるリーダーとなる事、3. 戦略的パートナーシップの一翼となる事が掲げられている。

もともと、上記のR財団の戦略の構築に当たっては、R財団の管理委員（トラスティー）とその作業部会において検討をされてきたが、その骨子は外部委託したコンサルタント会社の調査分析にもとづく提言によるところが大きい。その提言の一つに、80/20コンセプトがある。つまり、長期的で影響力が高いプロジェクトの比率と、短期的で影響力の低いプロジェクトの比率を逆転させてはどうかというものである。これまで、前者が20%で後者が80%であったものを、前者を80%で、後者を20%にしてはどうかと提言している。この提言では、間接的な表現になっているが、前者は長期的で影響力が高いプロジェクト、すなわち人道的奉仕プロジェクトを指しており、後者の短期的で影響力の低いプロジェクトとは、主に教育的プログラム関係その他を指している。新しい「未来の夢計画」では、前者をR財

団が取り仕切り、後者は地区に委ねるとしている。従って、DDFの配分においては、75%はR財団において企画、管理することとし、残りの25%を地区に配分している。言い換えると、「世界でよいことをしよう」に関係する人道的奉仕予算として75%を充て、残りの25%を教育的奉仕等の「地区でよいことをしよう」に使えることとしている。このような大きなR財団の変貌の特長は、要するに、今後R財団の直営事業としては、人道的奉仕活動に特化して行おうとしていることに注目しておく必要がある。そして、短期的プログラムを地区へ移管するが、それを覚書によって管理して行くシステムを「未来の夢計画」として構築している。この路線に沿って、クラブの活性化に当たっては、より良いプロジェクトで、より大きな影響をもたらし、会員と寄付者の基盤を拡大し、公共イメージの向上をはかり、寄付の増加につなげていくことを推奨している。今後、若干の手直しのマイナーチェンジがあると思われるが、ここしばらくは新戦略の実行が課題となることに疑念はない。今年のロータリー財団月間に寄せて、変わりゆくR財団の、一つの切り口を紹介した。会員諸氏のご研鑽を祈る。

地区青少年交換委員会報告

地区青少年交換委員長 垣内敏彦

平成24年9月8日（土）に、倉敷市で「2012-2013年度国際ロータリー第2690地区青少年交換委員会受入学生第1回オリエンテーション・歓迎会・帰国学生報告会」を開催しました。

当日は森田昭一郎ガバナー、森本信一ガバナー・エレクト、地区委員の方々、またインバウンドのウィリアム・リチャード・ジョンソン君（2012-13、米国ケンタッキー州出身、米子東RC）、リサ・リン・ウォーレイさん（2012-13、米国フロリダ州出身、米子南RC）、キーガン・マディソン・コステロ君（2012-13、米国フロリダ州出身、倉敷RC）とそのホストファミリー・推薦クラブ・受入高校の方々、「青少年交換学友（Youth Exchange Alumni）」（「ROTEX（Rotary ex-Youth Exchange Student）」と言う呼び名から変更になりました。）の菅原空君（2011-2012、倉吉RC）、隅田美莉さん（2011-2012、米子南RC）、岡村光隆君（2011-2012、岡山後楽園RC）に参加いただき総勢31名での盛大な会になりました。

冒頭、森田ガバナーの歓迎の挨拶ではじまり、出席者の自己紹介、オリエンテーションを行いました。

オリエンテーションでは、受入学生の安全や危機管理、高校の受入体制等について熱い議論がかわされました。特に、当地区では地理的な問題もあり、通学に自転車の使用を余儀なくされるケースが多いことから、交通事故防止についてどのように考えるか、また取り組

んでいくのか等々各クラブの方々から多くの意見が寄せられました。

続いて、歓迎昼食会をはさんで、来日学生スピーチ、帰国学生スピーチ、受入高校スピーチを行いました。3人の来日学生は、若干緊張気味でしたが、滞在期間が短いにもかかわらず精一杯日本語で、時に帰国学生の通訳をまじえながら、なぜ日本を選んだのか、これからの1年間、日本で何を勉強したいかなど抱負も含め話されました。また、帰国学生には立派な帰国報告書を提出していただきましたが、これに基づきながら米国やカナダでの思い出や経験、苦労したことや楽しかったこと、今後はどう活かしていくかなどお話いただきました。大変充実した1年間だったことが伝わってくるとともに、堂々としたスピーチ振りに成長がうかがえ、本当に頼もしく思えました。

一方、アウトバウンドで海外へ留学した派遣学生は1名（米子東RC 大塚美月さん）で、一年間の成長ぶりを楽しみにしています。

これから1年間、子供のこゆえ、色々な問題が発生すると思います。しかし「子供たちの安全を最優先」に考え、当事業を進めて参りたいと思いますので、皆様のご協力をお願いします。併せて、本年度派遣学生の募集も始まっていますので、たくさんの方の応募をお待ちしております。





ガバナー公式訪問だより

8/22(水)

平田ロータリークラブ

訪問者：森田ガバナー、内田随行幹事



1974年5月30日に
出雲南ロータリークラブの
スポンサーにより
創立されました。来
年度40周年を迎えら
れます。会員数は7月
1日現在36名、平均
年齢62.6歳です。ホームクラブ出席率は昨年度年間
83.96%の高率でした。黒田昌弘会長の重点目標は、
会員増強と退会防止に努め、「ロータリーを楽しもう」
のテーマのもと会員の親睦を図り、心のつながりが深ま
るようにすることです。そして、7名の増強目標を掲げ
られておられます。広報「ロータリー」季節のたよりを
毎年発行しており、内容はロータリーの行事や活動、例
会のスピーチなどです。平田の全世帯に配布し、ロータ
リーの活動が地域社会によく理解されているように思い
ました。その結果、ロータリーの公共イメージの向上に
つながっております。

8/22(水)

大社ロータリークラブ

訪問者：森田ガバナー、内田随行幹事



1961年3月26日に
出雲ロータリークラブ
のスポンサーにより創
立され51年の歴史あ
るクラブです。会員数
は7月1日現在42名、
平均年齢61.5歳で
す。公式訪問の例会場は、出雲大社の隣にある出雲
教信徒会館でした。会長・幹事懇談会の前に祝詞を
あげてからの開催であり、大社ロータリーらしい設営で
した。当クラブから、西尾崇第4グループ・ガバナー
補佐を輩出していただいております。手銭会長の方針
としては「個の確立ができればクラブの確立が出来る」
とし、会員増強の一点を重点にした計画でした。現時
点ですでに4名の増強を果たしておられました。また、
新地区補助金の事業として、地域の小学生に、海水

をくみ上げて「藻塩作り」を体験してもらうプロジェクト
を計画しています。

8/23(木)

大田ロータリークラブ

訪問者：森田ガバナー、内田、三宅随行幹事



大田ロータリークラ
ブは、創立42年目で、
スポンサークラブは出
雲 RC、正会員数23
名、平均年齢が64歳
のクラブです。特筆
すべきは、自クラブへ

の出席率が86.8%と非常に高く、まとまりのあるクラブ
です。しかし、様々な原因で、会員数が減少しており、
会員増強を緊急の課題と捉えています。その対策とし
て、川上会長、波多野幹事の下、CLP を積極的に行
い身の丈に合ったクラブ運営をされ、会員負担の軽減
を進めています。また、楽しい例会づくりや会員相互
の親睦を深める事を心掛けていました。それから、毎
年行われる市民公開講座を継続しながら本年度は奉仕
も合わせて実施するなど社会奉仕にも力を入れていま
す。そして、次世代奉仕として、小学校にペットボトル
のキャップを集める容器の寄贈も行っています。また、
認知度を上げる為に、市民公開講座やケーブルテレビ
を活用する取り組みも行っています。

8/24(金)

出雲南ロータリークラブ

訪問者：森田ガバナー、鴨井随行幹事



8月24日(金) 森
田ガバナー、鴨井随
行幹事の公式訪問を
頂きました。例会に先
立ち、会長、副会長、
幹事、副幹事との懇
談会があり、ガバナー

到着後早々に開会、予定の一時間を大幅に超えた会
談となりました。当クラブ森山育子会長より今期活動方
針の説明後、幹事(林)からはクラブ概要について報
告を行いました。その主な内容は以下の通りです。

ガバナー公式訪問だより

- ①地区テーマ「tsu ku su」を受けて、当クラブでは『家庭・地域に「tsu ku su」思いやりの心を重んじる』をクラブテーマとしました。
- ②地区最重点目標である会員純増5%について、当クラブの該当数は3名のところ、純増5名（女性会員1名）としました。
また、「キラリ☆一番星アワード」にも応募があり、エントリーしました。
- ③新地区補助金事業では青少年のための「出雲地方の神話と歴史を学ぶ郷土歴史リーダー育成プロジェクト」を企画。古事記編纂1300年を記念し、古事記に登場する出雲神話をわかりやすく解説、神話ゆかりの地を巡る勉強会に、180名の青少年・会員の参加を目標に、現在取り組んでいます。
- ④ガバナー月信電子化への対応は、会長が要約したものを第一例会でプリントアウトし回覧する。併せて地区ホームページからのダウンロードを推奨している旨を説明しました。

（出雲南 RC 幹事 林 不動 様からの寄稿）

【森田ガバナー facebook より】

本日は出雲南ロータリークラブ、ここは2690地区に2人いらっしゃる女性会長の中の一人 森山会長、林幹事率いる60名の名門クラブ。森山会長は茶道の三斎流の宗家、ガサツな私としては汗がにじむような貫禄をお持ちの会長、すべての準備は完璧でまいりました。ここは山本パストガバナーのクラブでもあり整然とした隙のないクラブです。西尾ガバナー補佐の評価も満点、もはや私としてはなにも言う事はございません。

8/27(月)

鳥取中央ロータリークラブ

訪問者：森田ガバナー、浅野随行幹事



平成元年に創立され、24年目。来年に四半世紀の25周年を迎えられるクラブです。今年度は森下会長のもと、「和をもって輪を拡げよう」のテーマで活動されております。新地区補助金事業の申

請も完了し、実施に向けて準備をしているとのことです。また、昨年からの継続で、東日本大震災支援プロジェクトの「復興ミール」を実施しています。組織改革としてCLPに取り組み、前年度の12委員会を今年度は6委員会に集約し、レベルアップをしています。会員数41名で、年齢構成のバランスも良く、会員増強の目標は8名純増とのことです。また、4つのテストを暗記しやすくするために、歌にしているとのことですが、お聞きすることが出来なかったのは残念でした。さまざまなアイデアで進化されておられるレベルの高いクラブであるとの印象でした。

8/28(火)

鳥取北ロータリークラブ

訪問者：森田ガバナー、三宅随行幹事



鳥取北ロータリークラブは、創立50年以上の歴史があり、スポンサークラブは鳥取RC、正会員数53名、平均年齢が61歳のクラブです。上田会長

の方針「鳥取北 RC の歴史を大事にし誇りの持てるクラブ活動を目指していきたい」との下、歴史を大切にしながら更なる発展を心掛けています。その中で、会員の高齢化が進んで来たので、本年度4名の会員増強を目指しています。また、会員相互の親睦を深める為に、夜間例会や家族例会を行っています。そして、長年に渡り、社会奉仕賞や勤労学生賞に取り組まれています。そして、今まで、ロータリー財団のプログラムには消極的でしたが、次年度より積極的に参加出来る様に、本年度準備を進めています。それから、クラブ・リーダーシップ・プラン (CLP) や委員会の見直しをする事によって、クラブの活性化を図る事に取り組んでいます。

8/29(水)

玉島ロータリークラブ

訪問者：森田ガバナー、秋山随行幹事

玉島 RC は、昨年45周年を迎えた伝統のあるクラブである。昨年は東日本大震災があり、周年行事は地味なものとなったが、IM を成功裡に終えることができ



ガバナー公式訪問だより



たそうである。会長・幹事懇談会の会場は、国民宿舎良寛荘の和室で開催された。高梁川河口の見晴らしもよく、会議は和室

ならではの落ち着いた雰囲気でも和やかに進められた。現在、会員数は30名、平均年齢は64歳、かつては46名のメンバーを有していたが、ここ数年は30名程度の会員数で推移しており、ベテランのメンバーが多い。中田会長の今年度主目標は会員増強と退会防止であり、同時に会員の若返りを図りたいとのことである。その為に、メンバー間の親睦を深め、楽しい会の運営に努めているそうである。また、本年度「キラリ☆一番星アワード」を活用して公共イメージと地域での認知度向上を目指している。但し、会員増強はライオンズクラブ等の活動も活発であり、苦戦をしている様子である。しかしながら、一方ではRCが行う種々の行事でライオンズクラブ・JC・商工会議所等の団体と共同で行うことも多く、町ぐるみ・地域一体の活動となっている。これは地域活動の一つのモデルになるのではないかとガバナーのコメントがあった。

8/30(木)

鳥取ロータリークラブ

訪問者：森田ガバナー、鴨井随行幹事



森田ガバナーが鴨井幹事を伴いお元気なご様子で鳥取に来られ、和やかなうちに、会長・幹事懇談会が行われました。まず、小谷幹事によるクラブ

概況報告、私のクラブ運営方針を報告したのち、森田ガバナーの指導・助言がありました。鳥取ロータリークラブは非常に完熟されたクラブであり、独自の制度（長老会員制度）や独自の行事（米原賞）などを取り入れていると、おほめの言葉がありました。鳥取RCとして「会長賞」を目指して頂きたいといわれ、それには3つの事が大事ですとのことでした。一つめは例会出席

率、特に当日ホームクラブ出席率を高めること。二つめはロータリー財団への寄与率。三つめはロータリーカードの取得率をあげられました。特にロータリー財団の「ポリオプラス」事業は、ノーベル平和賞にも匹敵する事業ですとのことでした。またCLPについてはクラブ内ですでに改善策やプログラムが整備されていれば、必ずしも取り入れる必要はないとの事でした。心にひっかかっていたことが、森田ガバナーのお話ですっきりしました。森田ガバナー鳥取RCへのご訪問有難うございました。

(鳥取 RC 会長 嶋田耕一様からの寄稿)

【森田ガバナー facebook より】

鳥取クラブは60周年の歴史を持つ名門クラブ、嶋田会長、小谷幹事のお話を聞いても流石という感じ。会の運営、在り方に重みを感じる、例会でもその感度は強い。壇上から眺めても会員の質の高さを感じる。これぞロータリーというスタイルを持っているクラブ。これからも山陰の雄として頑張ってもらいたい。

8/30(木)

鳥取西ロータリークラブ

訪問者：森田ガバナー、鴨井随行幹事



2012年8月30日(木) B方式で、森田昭一郎ガバナー・随行幹事(地区大会実行委員長)鴨井尚志様をお迎えし、公式訪問を受けました。

当日は、昼と夜の二つのクラブを公式訪問されるというハードな日程の中、例会に先立ち約1時間程度の懇談会が設けられ、我が鳥取西ロータリークラブの概要・クラブの運営方針・今後の活動等の質問を受け、それに答える形で始まりました。その後ガバナーより分かりやすく丁寧な言葉でご指導、ご助言をいただき、改めてガバナーのお人柄がうかがわれるものとなりました。その後、例会に出席していただき、ガバナーとしての所感・思いを講話していただいて懇親会に入りましたが、明日笠岡東での公式訪問を控えておられるとのことで、乾杯の音頭をとっていただいたところで鳥取を後にされました。今一度、2690地区のスローガン「tsu ku

ガバナー公式訪問だより

su」を思い浮かべ、会務に取り組んでいきたいと思いをします。

(鳥取西 RC 会長 葉狩弘一様からの寄稿)

【森田ガバナー facebook より】

17時より葉狩会長、錫木幹事との懇談。重厚な葉狩会長と要領良く説明して下さる錫木幹事と時間ギリギリまで。本日は夜の晩餐なので本来は共に飲み、共に食うという事であったのですが、この10日間が今回の公式訪問の山なので用心をして早めに退出する。3時間の帰り道は結構遠く感じたのは疲れのせいかな。

8/31(金)

笠岡東ロータリークラブ

訪問者：森田ガバナー、藤木随行幹事



笠岡東 RC は昭和61年に創立され、現在正会員40名、平均年齢60.5歳のクラブで、公式訪問時は福島会長、池田副会長、淵野幹事、吉岡副幹

事の温かく、丁寧な心のこもった歓待を受けました。福島会長を中心に「楽しいクラブづくり」を前面に押し出し、アットホームでフランクな雰囲気です。結束力を上げ、メンバーが良く知り合い、肩をたたきあえるそんなクラブづくりに精力的に取り組まれている様子が伺えました。活動面においても「会員増強」「新世代活動奉仕」「社会奉仕」などにも意欲的に取り組んでいます。顕著な取り組みとして「非眼院」へのスナッグゴルフ道具の寄贈や絶滅危惧にある寄島の「アッケシソウ」<寄島町が本州唯一の自生地であるサンゴソウ、寄島の天然記念物に指定>を守るための活動など、興味深いお話を聞くことが出来ました。例会の出席率も良く、例会場の雰囲気も大変良いものがあり、福島会長はじめ役員皆様の想いが浸透していることが感じられました。最後になりましたが円滑な会長幹事懇談会、例会の進行、会員皆様方の穏やかで真摯な対応に感謝し、益々のご発展をお祈りしながら笠岡グランドホテルをあとにしました。みなさんありがとうございました。

9/4(火)

笠岡ロータリークラブ

訪問者：森田ガバナー、松本随行幹事



西井会長の下に、田中作次 RI 会長並びに森田ガバナーの本年度テーマに基づいて、ロータリーの基本理念を理解し、親睦を深め、自己研鑽

を続けながら奉仕活動を通じて地域との連携を深めておられます。会員数は30数年に亘り50名台をキープしており、エリアでの適正な規模を維持しているものと思われ、今年度は2名の純増を目標にしています。海外 RC との交流が盛んで、ニュージーランドのタウランガ RC 及びオーストラリアのブロードビーチ RC との交流では、ロータリアンの交流に止まらず、語学研修での青少年の交換留学を毎年実施されています。インターアクト活動共々、若い世代への発信が顕著であり、活動の継続が将来に向かっての力になって行くものと感じられました。「長期計画」の見直し、及びテーマの集中と選択を検討しており新地区補助金プログラムへの取組も含めて前向きな姿勢が感じられました。非常に安定した運営をされており、森田ガバナーからは是非 RI 会長賞を目指して欲しいとのアドバイスがあり、健闘を祈りつつ会場を辞去しました。

9/5(水)

智頭ロータリークラブ

訪問者：森田ガバナー、大久保随行幹事



津山から奈義町を経由し、岡山県と鳥取県の県境、黒尾峠を越すとすぐに今日の訪問先智頭町に着きます。山間の落ち着いた静かな町という第一

印象で、近隣クラブは津山市、鳥取市にあり、どちらへも30kmを越える道のり、メーキャップはかなり難しそうです。福原会長と林幹事に温かいお出迎えを受けましたが、会長が37歳という若さにまず驚きました。



ガバナー公式訪問だより

名簿を拝見すると、会長は一昨年に、幹事は昨年に入会とのことで、二度吃驚しました。会員数12名の小規模クラブですので、いたしかたない状況なのでしょう。

「林新館」という落ち着いた雰囲気の高級料亭で、どちらも和室での会長・幹事懇談会、続いて公式訪問例会でしたが、創立50周年を迎える伝統クラブとして、少人数ながら地域に密着した、しっかりとしたロータリー活動を育んでおられると、お見受けいたしました。まさに福原会長の言う、「小さくてもきらりと光るクラブ」だと感じいった次第です。智頭ロータリークラブが、これからは地域に無くてはならないクラブとしてご活動されますようお祈りいたします。

9/5(水)

倉吉中央ロータリークラブ

訪問者：森田ガバナー、中村随行幹事



倉吉中央RCへの訪問は、数少ないB方式によるもので、翌日は倉吉東RCへの訪問でもあり、珍しく泊りがけの訪問となった。夜の例会ということ

で、食事は美味しいフレンチのコース料理で、アルコールも入り、ご機嫌なものだった。と言っても森田Gは、お酒を全く召されないの、杯を受けるのは私の担当である。クラブは会員数22名という規模ながら、新世代奉仕委員会や社会奉仕委員会を中心に、「科学するこころ教室」、「SAVE THE LOVE」などの継続事業を展開され、地域に根付いた地道な活動がなされている。例会においては、牧野会長が川柳を詠み、それにまつわる話をされ、とても家族的な雰囲気であった。牧野会長は本業の傍ら川柳作家協会の評議員をされており、例会で毎回披露しているとのことだ。さらに、会員増強への取り組みや、地区大会へ74%の登録をいただくなど、積極的で活力を感じるクラブであった。

9/6(木)

倉吉東ロータリークラブ

訪問者：森田ガバナー、中村随行幹事



倉吉東RCの例会場は、昨夜の倉吉中央RCと同じ倉吉シティホテルであり、我々の宿泊場所でもある。チェックアウト後、森田Gと倉吉市内を散

策した。倉敷に似たレトロな風情の街並みで、居心地の良い街である。倉吉東RCは40年以上の歴史があり、多くの分区代理やガバナー補佐を輩出されている。また、会員数は41名でその出席率は100%に近く、クラブ活動運営計画書では、会員ごとに自クラブとメイクアップ後の出席率が記載されるなど、出席率の向上につながるものとなっている。さらに、入退会者の記録や歴代RI会長とテーマなど資料としても立派に役立つ冊子となっており、森田Gが地区内ナンバーワンであると評価された。そして、船上山桜植樹プロジェクトなど環境保全や地域活性化に積極的な取り組みがなされ、公共イメージの向上に寄与されているクラブであると感じた。

9/10(月)

出雲中央ロータリークラブ

訪問者：森田ガバナー、井上、三牧随行幹事



出雲中央ロータリークラブは1992年、32名のチャーターメンバーで設立されました。現在会員数47名、平均年齢59歳、創立22年目のクラブ

です。創立22年間でなんと、19回もの会長賞を受賞されている素晴らしい活動をされているクラブです。山口会長の本年度テーマは「共に尽くそうロータリー」。会員一人一人が入会して良かった、入会して何かをやりたいと思えるようなロータリーの会にしていきたい。一人の力は小さく弱いものです。しかしこれを束ねて共に尽くせば、大きな力になります。とにかく尽くす事で

ガバナー公式訪問だより

す。その内容は何でも構いません。そうすれば必ずプラスの連鎖反応で良い方向に進みます。と熱く語られました。また4月8日に地区協議会で森田次期ガバナーの時に述べられました、「会長挨拶については自分の仕事の話は避けた方が良く、話は長くとも3分以内で」の言葉を実践しておられる山口会長の本当にまじめな人柄を感じました。例会においても非常にスピーディーで緊張感のあるきっちりとした出雲中央ロータリーの本筋を感じました。例会終了後には全員での集合写真を撮り隠岐の島に向けて出雲の地を後にしました。

9/11(火)

隠岐西郷ロータリークラブ

訪問者：森田ガバナー、井上、三牧随員幹事



七類港より高速艇に乗り込み前泊で隠岐西郷港に到着しました。雨の中、忌部会長が傘をさしてのお出迎えをして頂きました。翌日は、早朝より

り会長・幹事懇談会までの約2時間、重栖会員の隠岐国分寺、忌部会長の水若酢神社など島内を忌部会長自ら素晴らしい学術の基での隠岐の国に関する解説を聞かせていただきながらご案内頂きました。また五箇創生館という隠岐の伝統文化と観光の伝承施設がありその中で、「古典相撲」「牛突き(闘牛)」の映像も見せて頂き非常に解りやすく感動的な映像でした。隠岐西郷ロータリークラブは1965年に設立され47年目のクラブです。会員数26名平均年齢は63歳です。本年度クラブ運営方針は退会者の防止こそが会員の増強につながる。また例会出席、委員会活動への参加、そしてロータリアンとしての資質向上と創意工夫、この3点を運営方針とされていました。「我々ロータリアンがこの島の中で元気でなければ島が元気ならない、孤島だからこそやらなければいけない事、出来る事を無理はしないで少しだけ背伸びして頑張りたい」と熱く語られていました。本当に素晴らしいクラブでした。多くのあたたかいものを感じさせて頂き高速艇にて帰路につきました。

9/18(火)

総社吉備路ロータリークラブ

訪問者：森田ガバナー、丹波随員幹事



今年5月20日に創立25周年記念式を迎えた総社吉備路ロータリークラブの例会場は、歴史と文化の薫る国民宿舎サンロード吉備路にありました。

クラブ会員数は32名、平均年齢60歳とバランスもとれており、とても暖かい雰囲気を感じられました。茅原幹事よりクラブ概況説明があり、ホームクラブ出席率が86.77%と高くクラブの一体感を感じました。植木会長からは、設立時より会員数が減っている。「会員増強」一本槍で望みたいと増強フォーラムを開催し、40名を目標に取り組んでいくとのこと、大変心強いです。佐野副会長より新世代活動奉仕として、野外学習や野球教室を開催しているとの報告があり、森田ガバナーより新地区補助金は、地区補助金としてプログラムの目玉になり「未来の夢計画」につながる。補助金が利用できるプログラムに育ててほしいとのアドバイスがありました。例会も和やかなムードで終わり、外に出て全員で記念写真を撮り、吉備路を後にしました。

9/19(水)

津山西ロータリークラブ

訪問者：森田ガバナー、櫛田随員幹事



森宗柏会長、小椋章光幹事の温かい出迎え、心のこもった歓迎をうけました。

津山西ロータリークラブは、1971年9月22日創立され、現在

会員数は33名、平均年齢は65.79歳、津山地区では2番目に伝統と格式のあるクラブです。

森会長の本年度クラブ方針は、

- ①例会出席を呼び掛けて出席向上をはかり、シンプルだけど奥深い基本原則を大切に行う。
- ②10%の会員増強、新会員用のパンフレット作成し、



ガバナー公式訪問だより

体験例会を行う。

- ③「新たな一歩を」50年に向けて新たな一歩を踏み出していく。

以上の方針で本年は活動していくお話がありました。社会奉仕活動の事業内容は、早朝奉仕作業、津山市剣道連盟に助成、慮礼廃止の費用を寄付など、すごく地元地域に密着した活動をされていると深く感じました。例会点鐘後、すぐに会員全員で友好と親睦の握手を交わし、例会が始まりました。私も初めての事でしたので感動し、特に森田ガバナーは、女性と握手が出来た事を大変喜んでおられました。最後になりましたが、円滑な例会の進行や心温まるおもてなしをして頂き大変有難うございました。貴クラブの御発展を祈念申し上げます。

9/19(水)

津山中央ロータリークラブ

訪問者：森田ガバナー、櫛田随行幹事

津山国際ホテルにて、11時30分から会長・幹事懇談会を行いました。鈴木浩三会長、野井新造幹事



お二人とも病氣療養中と言うことで、中西寛治会長代行、小笠原卓広幹事代行と会議をさせて頂きました。津山中央ロータリークラブは、平成

元年2月18日に創立され、現在の会員数は26名平均年齢64.15歳、スポンサークラブは津山西クラブです。本年度会長方針は、退会防止と会員増強純増2名、クラブ活性化の為、楽しい例会を行い例会出席率を85%以上に上げ新陸活動の活性化をはかるということでした。公式訪問の例会は、親クラブの津山西ロータリークラブ合同で行われました。中西寛治会長代行、小笠原卓広幹事代行におかれましては、大変ではありますが、ご健康に留意され、津山中央ロータリークラブ発展の為、今後益々ご活躍されます事を祈念いたしております。大変有難うございました。

2012-2013年度新地区補助金奨学生留学

新地区補助金奨学生、河本愛美さん（スポンサークラブ倉吉 RC）は、イギリスのブラッドフォード大学（紛争解決学）に入学が決まり、2012年7月末渡英されました。事前に英語コースを受講し、9月中旬より正規プログラムを開始しています。

もう一人の奨学生、孝岡睦子さん（岡山北 RC 推薦）は、フランスのパリ第一大学（美術史学）入学が

財団学友小委員会委員長 櫛田修平

決まり、パリ国立近代美術館ポンピドー・センターで学芸研究員として2012年9月21日(金)に渡仏されました。

学業はもちろんのこと、カウンセラーの指導のもとに現地のロータリークラブの例会や行事に参加して、交流を深めて頂き、帰国後もスポンサークラブへの報告や例会に出席し、2690地区と長く関わって頂きたいと思っております。

米子 R C 創立60周年式典を終えて

米子ロータリークラブ 会長
勝部 不二夫

米子RCは1952年（昭和27年）7月9日に発会し、今年でちょうど60周年を迎え9月2日（日）に米子全日空ホテルにおいて「創立60周年記念式典並びに祝賀会」を行いました。

式典には国際ロータリー第2690地区の森田昭一郎ガバナー、藤井鳥取県副知事、野坂米子市長、スポンサークラブの神戸・姫路・鳥取RCの会長など多数の来賓を得、総勢約120名の参加のもとで盛大に挙行することができました。

式典では、森田ガバナーを始め6名の来賓から米子RCの60年の活動実績に対して高い評価をいただくとともに今後の活動に対して励ましのお言葉をいただきました。永東記念事業委員長が米子市中心市街地の公園広場に薬木49本を植樹したことを映像で披露し、勝部会長が米子市長に目録を贈呈しました。引き続き、スポンサーの3クラブの会長に感謝状と記念品の贈呈を行い、最後に松本哲哉副会長の閉会のことばで無事式典を終了しました。式典の予定時間を1分残すだけの素晴らしい進行ができました。

式典終了後の祝賀会は、プロの演奏家たちによるフルート・ピアノ・チェロの記念演奏が約30分。しばし静寂の中で演奏に聴き入るスタイルで始まりました。引き続き杵村優一郎60周年実行委員長の開宴の挨拶、杉原弘一郎第2グループガバナー補佐の乾杯のご発声により祝賀会が賑々しく開始しました。乾杯酒は、ワールド・ビア・アワードで世界一を受賞した地元の大地ビール醸造の「ヴァイツェン」。特製の「祝 米子RC



60周年」のラベルをあしらったボトルを用意しました。

料理は、洒落たオードブルで始まる本格的フランス料理のフルコース。地産地消を志向した食材をふんだんに使った料理を堪能できました。お酒はビール・ワイン・日本酒・ウイスキー・焼酎が供され、歓談の輪が徐々に広がりました。

祝賀会が最高潮に達したのは、台湾豊原扶輪社（RC）の莊君聖社長（会長）の祝辞に続いた台湾豊原扶輪社の会員・同夫人27名による歌と踊りでした。勝部（会長）夫妻も舞台上に上がり踊りらしき動きを示し、さらに多くのロータリアンが盛り上がりと呼応してステップを踏んだほどでした。

興奮冷めやらぬなか、会長の勝部からご臨席いただいたご来賓の方々への丁寧なる感謝の意を表し、記念事業の準備作業の舞台裏の披露があり和やかな締めくくりとなりました。

ファイナル・ステージは、船越清輔ソングリーダーがタクトを振り参加者全員が手と手をしっかりと握りあった「手に手つないで」の大合唱。友好の輪によりさらなるロータリアンの絆をしっかりと確認し、すべての記念事業を終えました。

最後になりましたが、式典に先立つ8月31日（金）に米子RCの維持と発展のためにご尽力いただいた多くの先輩方を偲ぶ「物故者追悼例会」を長田元ガバナー補佐の弔辞、黙祷、会員の献花によりしめやかに執り行ったことを報告いたします。



ロータリーの公共イメージと認知度向上 「キラリ☆一番星アワード」受賞者決定

アワード委員会 委員長
坂本万明

森田ガバナーは「スマートなロータリー」を目指して事務処理の省力化・簡素化に取り組んでいます。各種印刷物の削減やファイル共有・クラウド活用のほか、ガバナーマンズリーター（月信）の完全電子化と合理化によってもたらされたリソースを会員増強に充てることで「当アワード」を企画致しました。RI 戦略計画3つの優先項目の中で、森田ガバナーは特に「公共イメージと認知度向上」を推進し、また広く地域にロータリーの活動を啓発して、会員増強に結びつけることを目標に「当アワード」を創設しました。そして社会貢献団体・個人を顕彰して、地域でキラリと輝く活動を支援するプログラムとなりました。森田ガバナー年度がスタートした7月2日に倉敷市政記者クラブにおいて森田ガバナー・井上代表幹事・内田副代表幹事は記者会見を行うと共に民放に生出演して「当アワード」への応募を呼び掛けました。島根・鳥取両県でもガバナー補佐の皆様が各県の記者クラブやメディアに働きかけて、「当アワード」を通じてロータリーの「公共イメージと認知度向上」に努めていただきました。審査の過程につきましては、各ロータリークラブからの推薦者（60件）を各ガバナー

補佐の皆様へ審査いただき、11件をノミネートしました。その後、「公共イメージ向上委員会」が、最終審査（金賞・銀賞）を行い、受賞者を決定しました。

当アワードの募集活動と草の根のボランティアを实践されている市民を発掘するために多くのロータリアンが汗を流して推薦し、ガバナー補佐の皆様が厳正に審査していただきました事に敬意を表し、アワード委員会としては、関係者に厚く御礼を申し上げる次第です。

キラリ☆一番星アワード受賞者

金賞4件（推薦 RC）

- （鳥取県1件・島根県1件・岡山県2件）
- ・特定非営利活動法人
智頭町森のようちえんまるたんぼう（智頭 RC）
- ・マリブル（大社 RC）
- ・連合町内会阿波支部
（阿波まちづくり協議会）（津山西 RC）
- ・どんぐり友の会（岡山城 RC）

銀賞7件

- ・大山横手道上ブナを育成する会
（米子東 RC）
- ・曾田篤一郎文庫ギャラリー
（曾田文庫ギャラリー）（松江東 RC）
- ・NPO 法人アンダンテ21（益田 RC）
- ・浅口市寄島町
アッケシソウを守る会（笠岡東 RC）
- ・倉敷水辺の環境を考える会（倉敷水島 RC）
- ・NPO 法人公共の交通ラクダ（岡山 RC）
- ・エコライフ玉野（玉野 RC）



キラリ☆一番星アワード最終審査

審査員：森田ガバナー・森本ガバナーエレクト・井上代表幹事（2012年9月21日）

地区だより (2012年9月)

新会員のご紹介



ロータリー財団への寄付

大口寄付 (レベル1)



守屋忠弘
総社 RC

ポール・ハリス・フェロー



物部宏太郎
松江東 RC



近藤章浩
岡山旭川 RC



江尻博子
岡山南 RC

ポリオ・プラスへの寄付



浅野 薫
岡山南 RC



福岡睦子
岡山南 RC



今井 健
岡山南 RC



小川清弘
岡山南 RC

メモリアル・コントリビューションへの寄付

笠岡 RC 榑平裕子が、夫 榑平勝弘の為に1,000ドル

クラブ特別寄付 (年次寄付)

鳥取 RC.....600ドル (ミリオンダラーマイル)
 笠岡東 RC.....400ドル (その他)
 岡山岡南 RC..... 80ドル (新入会員寄付)

年次寄付にご寄付いただいた方々

鳥取 RC.....油野利博、安住庸雄、備本有一、藤川昭夫、藤縄匡伸、福嶋登美子、船本源司、星見清晴、今井陸雄、石丸文男、石谷暢男、甲斐英則、木井伸二、岸本信一、小原隆三、小谷文夫、幸田伸一、久保真人、倉下光明、松本宏思、真山得治、三浦雅博、森前茂彦、村江正名、長石肇、中村碩男、中尾喬一、中谷浩輔、西田良平、野口稔浩、能勢隆之、岡嶋公則、大石正人、大村匡由、大西弘明、尾崎繁、重信猛雄、嶋田耕一、四宮佑一、塩宏、城間徹、城谷和成、杉山長毅、鈴木現、高橋哲夫、高野剛、竹内ひとみ、谷口譲二、谷口麻有子、谷本光正、坪井秀明、土江征典、植木壽一、涌本祐之、山岸正明、山本康雄、矢野弘之、米原正明、吉田友和、吉岡昭義
 松江しんじ湖 RC...秋鹿誠、堀江知恵美、岩田薫、小林幹久、小塚隆訓、古安正好、久保田和代、内藤允宏、大西育恵、齊田香住、新宮広海、若佐博之、上田恭己
 江津 RC.....青木史郎、大源富夫、藤代美友、藤田武利、郷原大、原諭、本藤繁夫、石橋孝義、伊藤誠二、柿本礼二、川西治、木原清、桑原祥瑞、森口裕行、森脇祐之助、室谷卓治、永井良三、二上忠幸、小川泰道、尾前豊、山藤迪、佐々木啓之、佐多宗、砂田忠、高田圭介、寺下衛、和原勝博、和木田登、山崎一成
 倉敷南 RC.....稲垣公章、大久保和行
 津山西 RC.....西本美枝子
 岡山南 RC.....赤澤日出樹、秋山秀行、安東佳子、青山勲、荒木昭仁、有松由恵、有元稔、浅田昭治、浅原道尚、浅野薫、江草安彦、藤澤茂、藤田英彦、藤田成美、藤原広豊、藤原和、藤原京子、藤原恵、福岡睦子、福澤忠、浜田淳、濱野早苗、春木茂、長谷川威、橋本光司、平川清高、蛭田二郎、本田範行、堀井茂男、池田和真、生本覚、今井健、今村浩靖、石橋雅則、石谷祐一、石井栄一、石井清裕、岩崎増英、伊澤正信、神野恵、神野時有、香川昌久、梶谷勝彦、加計孝太郎、金枝敬明、片岡博、形山保淑、勝間田達広、川野壮一、貴田茂、木村秀幸、木村徹、木下素希、岸野年宏、北原哲五郎、喜多嶋康一、小出和久、小池将文、小松原正吉、近藤弦之介、河口州男、國廣秀司、國富郷太郎、國富保太、黒田季之、黒瀬敦美、黒瀬仁志、来原明宏、前田栄、榎野博史、真邊和美、間野正之、鞠子永雄、松畑熙一、光吉宏、宮地敬、宮地敬幸、宮下附一竜、水内淳一、森田学、守屋勝利、永野公之、長家靖、永山久人、中島保、中島康博、中島洋子、中山雅弘、新内芳之、仁木壯、西川智晴、信江茂、延原正浩、延原正、野島豊、野瀬洋輔、小田滋、小川健、小川清弘、尾原淑子、



大平真澄、大道卓也、大岩道典、岡部錦一郎、岡崎弘志、岡崎世作、大西康正、小野山嘉木、大田弘之、大瀧昇、尾崎敏之、佐伯雅生、榊原敬、佐藤治男、佐藤潔、佐藤昌信、佐藤芳郎、柴田厚、重近実、清水富江、篠田純男、白神久志、末吉豊、砂田治男、多田駿、高木晶悟、高橋隆一、高松屋暢克、武谷信彦、滝川正春、瀧川和民、田村陽久、田村哲、田中一宏、田中茂敬、戸田正志、友田重文、鳥越良光、豊福幸雄、坪井宏通、辻誠一、塚本博視、内田通子、宇治郷巨、海野勉、畦平雅由、渡邊達夫、山田都一、山本敬史、山中寛朋、山根学、大和豊子、安井英規、吉本やよい、湯浅信夫、畑島美緒、木下育子、長尾幸次郎、小幡篤志、難波義弘、吉村充司

岡山岡南RC……秀岡康則、磯邊崇

米山記念奨学会への寄付

米 山 功 労 者



伊藤文利 倉吉 RC 13
 長田昭夫 米子 RC 5
 長家 靖 岡山南 RC 13
 佐藤治男 岡山南 RC 2
 今村浩靖 岡山南 RC 1
 岩崎増英 岡山南 RC 4

ク ラ ブ 特 別 寄 付

鳥取RC……………48,000円 (米山ランチ)
 笠岡RC……………28,305円 (米山ランチ)

ク ラ ブ 普 通 寄 付

益田RC……………110,000円
 益田西RC……………135,000円

特別寄付をいただいた方々

笠岡RC……………赤田博文、岡本章、小笠原和壽、小堀秀男、坂本達也、鶴田康範、西井保行、藤井邦登、前田哲男、柳生篤成、
 山河敏幸、山名照知、吉本仁志、山本国春、塩飽繁樹
 岡山岡南RC……………秀岡康則、磯邊崇

文庫通信 (301号)

「ロータリー文庫」は日本ロータリー50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。

ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、約2万3千点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、

絶版資料についてはコピーサービスも承ります。また、一部資料はホームページでPDFもご利用いただけます。

クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。

以下資料のご紹介を致します。

地区大会の講演と新着資料より

◎ 「ロータリーと戦略計画」	三木 明	2012	6p	(D.2720)
◎ 「ロータリーの進化について」	重田政信	2012	8p	(D.2790)
◎ 「ロータリーの心と原点」	廣畑富雄	2012	10p	(D.2740)
◎ 「善き仲間と共に」	中村靖治	2012	6p	(D.2740)
◎ 「ロータリーの心を学ぶための教育の場にもう一度作り変えていく」	上野 孝	2012	6p	(D.2740)
◎ 「私が歩みし職業奉仕」	藤川享胤	2012	13p	(D.2670)
				[上記申込先：ロータリー文庫]
◎ 「日本ロータリーの曙」	田中毅 源流の会	2012	63p	[申込先：田中毅 FAX(06)6491-9899]
◎ 「発達障害はどこでつまづくのか Vol. 3 DVD」	D.2680	2012		[申込先：D.2680 FAX(078)304-2681]

ロータリー文庫

〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル3階 TEL (03) 3433-6456・FAX (03) 3459-7506
<http://www.rotary-bunko.gr.jp> 開館=午前10時~午後5時 休館=土・日・祝祭日



出席報告 (2012年9月)

クラブ名	Make-up後出席率(%)	ホームクラブ出席率(%)	例会数	会 員 数				
				7月1日	9月末	内女性会員	増減	
第1グループ	智 頭	75.00	68.75	4	12	12	0	0
	倉 吉	93.97	79.74	4	56	58	3	2
	倉吉中央	67.05	62.50	4	22	22	2	0
	倉吉東	96.34	64.62	4	41	41	2	0
	鳥 取	99.59	84.85	4	56	61	3	5
	鳥取中央	87.70	86.07	3	41	41	0	0
	鳥取北	85.41	79.46	4	52	51	6	-1
	鳥取西	82.59	73.21	4	54	56	0	2
計 (8)	85.96	74.90		334	342	16	8	
第2グループ	境 港	75.00	62.22	4	41	44	0	3
	米 子	78.57	55.48	3	60	63	2	3
	米子中央	86.03	75.74	4	33	34	2	1
	米子東	76.69	61.96	4	83	83	5	0
	米子南	89.80	72.79	3	50	51	1	1
計 (5)	81.22	65.64		267	275	10	8	
第3グループ	松 江	93.08	78.85	4	66	67	0	1
	松江東	89.17	77.08	3	57	57	0	0
	松江南	91.62	84.29	3	63	67	4	4
	松江しんじ湖	91.54	69.49	4	66	68	10	2
	隠岐西郷	88.54	71.88	4	26	26	0	0
計 (5)	90.79	76.32		278	285	14	7	
第4グループ	平 田	90.21	85.31	4	36	38	2	2
	出 雲	76.82	71.52	3	48	51	1	3
	出雲中央	77.54	73.19	3	47	46	3	-1
	出雲南	92.24	82.33	4	59	58	6	-1
	大 社	75.66	68.42	4	42	46	1	4
計 (5)	82.49	76.15		232	239	13	7	
第5グループ	江 津	75.00	72.41	4	29	29	0	0
	浜 田	89.10	80.48	4	56	55	1	-1
	益 田	92.39	61.96	4	22	22	2	0
	益田西	84.87	63.87	4	27	28	2	1
	大 田	87.80	85.00	4	23	23	3	0
計 (5)	85.83	72.74		157	157	8	0	
第6グループ	井 原	84.23	73.75	4	47	46	4	-1
	笠 岡	91.33	88.44	4	51	51	0	0
	笠岡東	88.13	81.88	4	40	40	1	0
	新 見	79.35	68.48	4	23	23	1	0
	総 社	87.68	81.16	4	38	39	7	1
	総社吉備路	86.61	84.25	4	31	33	2	2
	高 梁	87.01	75.71	4	45	45	3	0
	玉 島	81.03	78.45	4	30	30	1	0
計 (8)	85.67	79.02		305	307	19	2	

クラブ名	Make-up後出席率(%)	ホームクラブ出席率(%)	例会数	会 員 数				
				7月1日	9月末	内女性会員	増減	
第7グループ	児 島	83.61	72.13	4	31	31	0	0
	児島東	89.39	84.85	3	22	22	0	0
	倉 敷	99.10	83.25	4	82	88	0	6
	倉敷中央	79.63	74.07	3	17	18	3	1
	倉敷東	98.37	90.91	3	41	41	4	0
	倉敷南	93.18	63.92	4	65	66	5	1
	倉敷水島	84.09	75.00	4	27	27	0	0
	倉敷瀬戸内	92.86	70.77	4	34	35	3	1
計 (8)	90.03	76.86		319	328	15	9	
第8グループ	真 庭	88.37	77.67	4	34	33	0	-1
	美 作	91.60	90.00	4	36	35	1	-1
	津 山	69.73	64.37	3	88	89	3	1
	津山中央	76.81	72.46	3	26	26	3	0
	津山西	81.10	78.57	4	32	33	4	1
計 (5)	81.52	76.61		216	216	11	0	
第9グループ	赤 磐	70.00	59.32	3	21	21	0	0
	備 前	68.55	62.28	4	62	61	7	-1
	岡 山	88.68	73.91	4	109	114	0	5
	岡山東	90.00	81.79	4	85	86	0	1
	岡山北西	93.71	83.22	3	50	49	4	-1
	岡山後楽園	82.41	76.39	4	54	54	0	0
計 (6)	82.23	72.82		381	385	11	4	
第10グループ	岡山旭川	79.47	73.22	4	28	29	1	1
	岡山中央	84.56	70.45	4	43	43	4	0
	岡山北	83.24	68.21	4	43	44	0	1
	岡山南	76.76	71.36	4	157	161	15	4
	玉 野	89.52	81.90	3	34	35	0	1
	牛 窓	90.48	90.48	3	7	7	0	0
計 (6)	84.01	75.94		312	319	20	7	
第11グループ	岡山備南	85.94	81.10	4	34	35	4	1
	岡 山 城	93.52	84.91	4	26	27	3	1
	岡山岡南	83.19	70.59	4	29	32	4	3
	岡山丸の内	79.69	74.22	4	33	33	2	0
	岡 山 西	87.21	73.39	3	77	77	6	0
	岡山西南	86.76	78.44	4	57	58	4	1
計 (6)	86.05	77.11		256	262	23	6	

地区クラブ内の状況

クラブ数	67RC	
7月1日現在会員数	3,057名	
9月末日会員数	3,115名	
内 女性会員数	160名	
純増	58名	
9月出席率	Make-up後	85.07%
	ホームクラブ	74.92%

表紙説明 児島虎次郎 (1881 ~ 1929) 《和服を着たベルギーの少女》 1911年 油彩・画布 116×89 cm

1902(明治35)年東京美術学校への進学を機に、児島虎次郎が大原孫三郎を訪ねその奨学金を得ることとなって以来、二人は親友と呼ぶべき交友を続ける。虎次郎は同校を二度の飛び級で卒業。さらに研究科在籍中の1907(明治40)年に東京府勸業博覧会美術展で一等賞となる。これを楽しんだ孫三郎は翌年から5年間の西欧留学を勧め、虎次郎は主としてベルギーのゲント美術

術学校での研鑽に励む。

本作はゲントで制作され、フランスのサロン・ナショナルへ初入選したもの。明るい色彩と乱舞するような筆致が特徴的だが、その後、優れた西洋美術を日本に紹介し、また自らの作品に東洋の民族衣装の女性を描いてはフランスで発表したように、文化の相互交流に意を注いだ児島らしい作品である。

国際ロータリー第2690地区
2012-2013年度地区 テーマ

「tsu ku su」

一家庭人として 社会人として 日本人として



国際ロータリー第2690地区 2012-2013年度 ガバナー
森田 昭一郎

〒710-0824 岡山県倉敷市白楽町249-5 倉敷商工会館3F
TEL 086-421-2690 FAX 086-421-2691
E-mail: info@rid2690.gr.jp